

COVID-19 感染拡大における看護学生の 学習意欲とキャリアレディネスに関する研究

泉 抽岐

Human and Environment Vol. 16 (2023)

A Study on Learning Motivation and Career Readiness
of Nursing Students in the COVID-19 Pandemic

Yuzuki Izumi

Osaka Shin-Ai College, Osaka 538-0053, Japan

COVID-19 感染拡大により学生を取り巻く学習環境や生活が大きく変わった。そこで COVID-19 感染拡大が看護学生の生活様式、食生活、学習意欲、キャリアレディネスにどのように影響を及ぼしているかを調査し、また実習経験が看護学生の学習意欲、キャリアレディネスに及ぼす影響を明らかにし、今後の看護の学びやキャリアレディネスの向上にむけて、課題や適切な介入方法を見出すことを目的とした。

A 短期大学看護学科 2020 年度の 1~3 年生 217 名に対して生活様式、食生活、学習意欲、キャリアレディネスの尺度を作成し、COVID-19 感染拡大前後について質問紙調査法を実施、ウィルコクソン符号付順位検定で分析をした。また、実習を経験した 2021 年度の新 3 年生に対し学習意欲とキャリアレディネスの質問紙調査法を実施、マン・ホイットニー U 検定で分析をした。

COVID-19 感染拡大の外出自粛や感染対策は、多くの国民と同様に看護学生の生活様式や食生活の行動に影響を及ぼしていたことが明らかとなった。またオンライン講義等の学習環境の変化によって学習意欲尺度【集中力・持続力因子】の低下を招いていた。キャリアレディネス尺度では、臨地実習に行けなかった 3 年生の向上はなかったが看護学生全体で感染拡大後に向上がみられた。そして、看護学生の実習経験は学習意欲尺度【集中力・持続力因子】を向上させた。2 年生時に低かったキャリアレディネス尺度が、実習を経験することで【関心性】【自律性】【計画性】に向上がみられ、実習が学習意欲、キャリアレディネスに影響を及ぼしていることが明らかとなった。COVID-19 感染拡大が続き、今後の看護教育は「ウィズコロナ」で学習環境が整えられていくと考えられ、学生の「看護を学びたい」という意欲を受け止め、感染対策の看護技術習得を徹底し臨地実習につなげていくことが大切である。また生活の場に看護実践を広げ、キャリアレディネスの向上につながる看護の発見や興味を持てる介入が必要であると示唆された。

キーワード：COVID-19・看護学生・学習意欲・キャリアレディネス

Key words：COVID-19・Nursing Student・Learning Motivation・Career Readiness

*大阪信愛学院短期大学看護学科
〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見 6-2-28
E-mail: loyuzukive.au@gmail.com

受付：2023 年 2 月 18 日 受理：2023 年 10 月 30 日

©2023 大阪信愛学院短期大学

1. 緒言

2020年3月WHOはCOVID-19感染拡大による「パンデミック宣言」を発表した。日本においても4月「緊急事態宣言」が発令され、不要不急の外出自粛、イベントの中止、学校の休校、在宅ワークの推奨等、国民の生活の変化は余儀なくされた。マスク着用、手洗い励行、社会的距離を保つ等の感染対策が続けられたが、A短期大学がある大阪府大阪市は全国でもCOVID-19感染者数が多く「まん延防止等重点措置に基づく要請」等が繰り返された[1] (表1)。

表 1. COVID-19 感染拡大による緊急事態宣言等の期間

発出内容	期 間
緊急事態宣言	2020/4/7(火)~5/21(木)
緊急事態宣言	2021/1/14(木)~2/28(日)
蔓延防止など重点措置	2021/4/ 5(月)~4/24(土)
緊急事態宣言	2021/4/25(日)~6/20(日)
蔓延防止など重点措置	2021/6/21(月)~8/1(日)
緊急事態宣言	2021/8/2(月)~9/30(木)

COVID-19感染拡大で看護学生は、緊急事態宣言下では登校できず、文部科学省「新型コロナウイルス感染症下における看護系大学の臨地実習の在り方に関する有識者会議報告書 看護系大学における臨地実習の教育の質の維持・向上について」(2021年6月)[2]によると、代替措置の内容は「学内実習・学内演習」が90.7%「オンライン」が88.6%「紙面による課題学習」が83.3%であった。看護学生の学習環境は対面講義からオンライン(遠隔かつ双方向性)になり、臨地実習から学内実習へと変更された。山田ら[3]は、看護学生時代の学習はキャリアレディネスに影響する、と示唆している。

本研究では、COVID-19感染拡大が看護学生の生活様式、食生活、学習意欲およびキャリアレディネスにどのように影響を及ぼしているかを捉え、また実

習経験が看護学生の学習意欲およびキャリアレディネスに及ぼす影響を明らかにすることで、今後の看護の学びやキャリアレディネスの向上にむけて、課題や適切な介入方法を見出すことを目的とした。

2. 研究方法

2.1. 「COVID-19 感染拡大における新しい生活様式と学習環境の変化が学習意欲およびキャリアレディネスに及ぼす影響(2020年度)」

A短期大学の看護学科において、2021年2月後期日程の終了後に無記名自記式質問紙調査を行った。調査内容はCOVID-19感染拡大におけるストレスと生活様式、食生活の尺度を作成し、加曽利の学習意欲[4]、坂柳のキャリアレディネス[5]については、事前に承諾を得て一部看護に関連した項目にして尺度を作成した。各尺度はクロンバックα係数で信頼性を確認した。理想の看護師像は記述とした。各尺度に対して、一学生がCOVID-19感染拡大前を想起した回答と経験後の同じ質問に回答を記入した。ウィルコクソン符号付き順位検定を実施し、尺度は「あてはまる」「ややあてはまる」「ややあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で解析した。分析対象者は、1年生68名(回収率100%)、2年生72名(無効回答2名)、3年生75名(回収率100%)であり、解析時に欠損値の処理を行なった。解析ソフトはIBM SPSS Statistics 27を用いた。検定における有意水準は5%とした。

2.2. 「実習経験と学習意欲・キャリアレディネスの関連の調査(2021年度)」

調査対象者は、2020年2月に実施した調査時に2年生で、2021年に3年生に進級した学生55名であった。調査時期は、前期実習日程の終了後2021年7月であった。調査内容は、COVID-19感染拡大におけるストレス、実習回数と臨地実習の希望、2年生時に実施した内容と同じ学習意欲とキャリアレディネスについて「あてはまる」「ややあてはま

る「ややあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で解析した。調査の分析対象について、属性やストレスは3年生55名(回収率100%)で解析を行い、<学習意欲><キャリアレディネス>は完全回答を有効とした。3年生55名で有効回答は42名(76%)、2年生時の調査結果72名で有効回答は62名(86%)とした。解析ソフトはIBM SPSS Statistics 27を用いた。検定における有意水準は5%とした。

本研究はA短期大学倫理委員会審査により承諾を得た(承認番号R2-12)。また、調査時はCOVID-19感染対策に留意しておこなった。

3. 結果

3.1. 「COVID-19 感染拡大における新しい生活様式と学習環境の変化が学習意欲およびキャリアレディネスに及ぼす影響(2020年度)」

「コロナ禍においてストレスを感じるのは、どんな時か(2020年度)」: 結果(図1)から、1, 2年生はオンライン講義の増加、3年生では実習に行けないことにストレスを感じていることがわかった。次に、各学年のCOVID-19感染拡大前後について生活様式、食生活、学習意欲、キャリアレディネスの

各尺度データをウィルコクソンの符号付き順位検定を用いて表した。生活様式尺度(表2)では、手洗い・手指消毒の励行やマスクの着用などの感染予防を感染拡大以前より有意におこなっていた。また、「学校で学んだことが生活で活かすことができているか」の項目でCOVID-19感染拡大後に有意差がみられた。食生活尺度(表3)では、外出自粛により宅配で食事を頼む、外食をすることが少なくなっていた項目で有意差がみられた。学習意欲(表4)に関しては、1, 2年生において【集中力・持続力因子】で有意差が見られた。【自己向上志向因子】においては、「看護の知識をもっと身に付けたいと思う」「看護の技術をもっと身に付けたいと思う」「看護の態度や姿勢をもっと身に付けたいと思う」の項目で「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合が、COVID-19感染拡大前と後の両方で高く示された。キャリアレディネス(表5)に関しては、1年生【関心性】1項目、【自律性】2項目であり、2年生では【関心性】2項目においてCOVID-19感染拡大前後で有意差があった。「今希望している職業は、またすぐ変わるかもしれない」に有意差はなかった。3年生は、全項目において有意差はなかった。理想の看護師像では「寄り添える」の文字列の出現数が多かった。

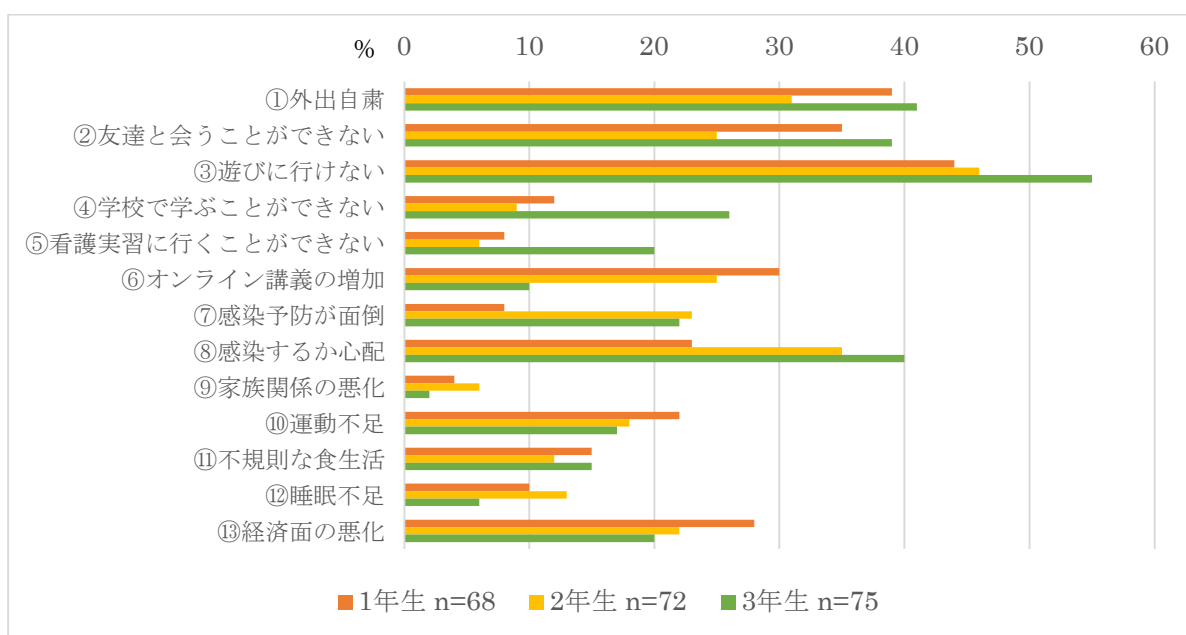


図1 コロナ禍においてストレスを感じる時は、どんな時か(2020年度)

表 2 生活様式について 統計検定量

生活様式 項目	1年生 (n=68)			2年生 (n=72)			3年生 (n=75)		
	z	r	p	z	r	p	z	r	p
1 手洗い・手指消毒を励行している	-5.70 ^b	-0.69	0.000 ***	-6.23 ^b	-0.73	0.000 ***	-5.06 ^b	-0.58	0.000
2 マスクを着用している	-6.12 ^b	-0.74	0.000 ***	-6.89 ^b	-0.81	0.000 ***	-6.39 ^b	-0.74	0.000
3 ソーシャルディスタンスを意識している	-6.50 ^b	-0.79	0.000 ***	-7.11 ^b	-0.84	0.000 ***	-6.19 ^b	-0.72	0.000
4 感染予防の方法を知っている	-5.74 ^b	-0.70	0.000 ***	-5.85 ^b	-0.69	0.000 ***	-4.43 ^b	-0.51	0.000
5 常に感染予防に努めている	-6.18 ^b	-0.75	0.000 ***	-6.85 ^b	-0.81	0.000 ***	-6.26 ^b	-0.72	0.000
6 自分の健康管理に気を付けている	-5.18 ^b	-0.63	0.000 ***	-5.28 ^b	-0.62	0.000 ***	-5.70 ^b	-0.66	0.000
7 家族の健康管理に気を付けている	-5.94 ^b	-0.72	0.000 ***	-5.26 ^b	-0.62	0.000 ***	-5.85 ^b	-0.67	0.000
8 学校で学んだことが生活で活かすことができますか	-5.32 ^b	-0.65	0.000 ***	-4.64 ^b	-0.55	0.000 ***	-3.91 ^b	-0.45	0.000
9 睡眠時間を7~8時間程度とっている	-0.04 ^b	0.00	0.968	-0.84 ^b	-0.10	0.401	-1.56 ^b	-0.18	0.119
10 夜中ずっと起きてることがある	-3.46 ^b	-0.42	0.001 ***	-3.05 ^b	-0.36	0.002 ***	-1.57 ^b	-0.18	0.116
11 インターネット利用が2時間以上/日ある	-3.11 ^b	-0.38	0.002 ***	-2.98 ^b	-0.35	0.003 ***	-0.25 ^c	-0.03	0.802
12 ネット動画をよく見ている	-3.04 ^b	-0.37	0.002 ***	-3.60 ^b	-0.42	0.000 ***	-0.45 ^b	-0.05	0.659
13 自分のストレス解消法がある	-0.84 ^b	-0.10	0.403	-0.71 ^b	-0.08	0.475	-0.11 ^c	-0.01	0.917
14 定期的な運動を行っている	-3.46 ^b	-0.42	0.000 ***	-1.47 ^c	-0.17	0.142	-0.46 ^c	-0.05	0.648

a. Wilcoxon の符号付き順位検定 b. 負の順位に基づく c. 正の順位に基づく * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表 3 食事について 検定統計量

食事について 項目	1年生 (n=68)			2年生 (n=72)			3年生 (n=75)		
	z	r	p	z	r	p	z	r	p
1 毎日、朝食を食べていますか	-1.57 ^b	-0.19	0.116	-2.14 ^b	-0.25	0.032 *	-0.71 ^b	-0.08	0.488
2 毎日、昼食を食べていますか	-2.15 ^b	-0.26	0.032 **	-0.55 ^b	-0.06	0.582	-0.35 ^b	-0.04	0.739
3 毎日、夕食を食べていますか	-0.71 ^b	-0.09	0.480	-1.47 ^b	-0.17	0.142	-0.41 ^c	-0.05	0.689
4 家族と一緒にご飯を食べることが多いです	-0.45 ^c	-0.05	0.654	0.00 ^c	0.00	1.000	-0.47 ^c	-0.05	0.649
5 自分でご飯を作りますか	-2.72 ^c	-0.33	0.007 **	-2.85 ^d	-0.34	0.004 ***	-1.08 ^b	-0.12	0.289
6 外食をすることが多いです	-3.46 ^b	-0.42	0.001 ***	-3.80 ^b	-0.45	0.000 ***	-3.62 ^c	-0.42	0.000
7 宅配で食事を頼んで食べますか	-2.74 ^c	-0.33	0.006 **	-3.63 ^d	-0.43	0.000 ***	-3.67 ^b	-0.42	0.000
8 持ち帰りの食事を購入して食べますか	-1.66 ^c	-0.20	0.097	-3.77 ^d	-0.44	0.000 ***	-3.15 ^b	-0.36	0.000
9 インスタント食品をよく食べますか	-0.18 ^c	-0.02	0.860	-2.24 ^d	-0.26	0.025 *	-0.93 ^b	-0.11	0.359
10 サプリメントを摂取しますか	-1.81 ^c	-0.22	0.070	-1.55 ^d	-0.18	0.120	-2.46 ^b	-0.28	0.019
11 栄養バランスを考えながら、食事をしていますか	-1.84 ^c	-0.22	0.065	-0.23 ^d	-0.03	0.819	-0.68 ^b	-0.08	0.509
12 つい食べ過ぎてしまうことがありますか	-0.77 ^c	-0.09	0.439	-1.43 ^d	-0.17	0.153	-1.32 ^b	-0.15	0.189
13 夜中に間食をすることがありますか	-2.29 ^c	-0.28	0.022	-2.08 ^d	-0.24	0.038 *	-1.59 ^b	-0.18	0.119
14 食べることは大切なことと考えている	-1.51 ^c	-0.18	0.132	-0.45 ^b	-0.05	0.655	-0.78 ^c	-0.09	0.439
15 食事は家族や友人と食べるのが好き	0.00 ^d	0.00	1.000	-1.73 ^d	-0.20	0.083	-0.74 ^c	-0.09	0.459
16 カロリーが気になる	-1.52 ^c	-0.18	0.128	-0.86 ^d	-0.10	0.392	-0.43 ^b	-0.05	0.669
17 食生活を改善したいと思う	-2.50 ^c	-0.30	0.013 **	-0.59 ^d	-0.07	0.556	-2.15 ^b	-0.25	0.039
18 食費はできるだけ切り詰めたい	-0.98 ^c	-0.12	0.328	-0.93 ^d	-0.11	0.353	-1.21 ^b	-0.14	0.229
19 料理をすることが好き	-0.33 ^c	-0.04	0.739	-0.97 ^d	-0.11	0.334	-0.26 ^c	-0.03	0.799
20 自分の食生活に満足している	-0.49 ^b	-0.06	0.623	0.00 ^c	0.00	1.000	-1.50 ^c	-0.17	0.139
21 食事はとりあえず空腹が満たされれば良い	-0.36 ^c	-0.04	0.716	-0.60 ^d	-0.07	0.546	-0.55 ^c	-0.06	0.869
22 自分はグルメな方だと思う	-1.27 ^b	-0.15	0.206	-1.34 ^d	-0.16	0.180	-0.55 ^c	-0.06	0.589
23 菓子など甘いものを食事代わりにしても平気である	-0.58 ^b	-0.07	0.564	-0.59 ^d	-0.07	0.558	-0.54 ^c	-0.06	0.599
24 1日1食でも平気である	-1.22 ^c	-0.15	0.221	-2.04 ^d	-0.24	0.041 *	-0.14 ^b	-0.02	0.889
25 若いので、不健康な生活でも平気である	-0.74 ^c	-0.09	0.458	-0.55 ^d	-0.06	0.582	-1.00 ^c	-0.12	0.319
26 食べることに関心がない	-0.27 ^c	-0.03	0.791	-0.56 ^d	-0.07	0.577	0.00 ^d	0.00	1.000

a. Wilcoxon の符号付き順位検定 b. 正の順位に基づく c. 負の順位に基づく d. 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなる * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表4 学習意欲について 統計検定量

因子	< 学習意欲 > 項目	1年生 (n=68)			2年生 (n=72)			3年生 (n=75)			
		Z	r	p	Z	r	p	Z	r		
集中力・持続力	1 授業中、なんとなく落ち着かない	-3.09 ^b	-0.37	0.002 ^{***}	-2.76 ^b	-0.33	0.006 ^{**}	-0.65 ^b	-0.08	0.	
	2 授業中、集中力が続かない	-2.69 ^b	-0.33	0.007 ^{**}	-3.80 ^b	-0.45	0.000 ^{***}	-1.23 ^b	-0.14	0.	
	3 授業中、身体がだるい	-2.28 ^b	-0.28	0.022 [*]	-2.88 ^b	-0.34	0.004 ^{***}	-0.03 ^c	0.00	0.	
	4 授業中、すぐ疲れる	-2.84 ^b	-0.34	0.005 ^{***}	-3.12 ^b	-0.37	0.002 ^{***}	-0.93 ^b	-0.11	0.	
	5 授業中、ぼんやりしている	-3.47 ^b	-0.42	0.001 ^{***}	-3.74 ^b	-0.44	0.000 ^{***}	-0.74 ^b	-0.09	0.	
	6 授業中、考え事をしてることが多い	-2.12 ^b	-0.26	0.034 [*]	-2.06 ^b	-0.24	0.040 [*]	-0.22 ^c	-0.03	0.	
	7 授業中、なぜかイライラしている	-1.00 ^b	-0.12	0.318	-3.04 ^b	-0.36	0.002 ^{***}	-1.17 ^b	-0.13	0.	
	8 授業中、眠くなることもある	-1.92 ^b	-0.23	0.054	-0.57 ^b	-0.07	0.572	-0.29 ^c	-0.03	0.	
自己向上志向	9 興味がある授業には積極的に取り組む	-1.47 ^b	-0.18	0.142	-0.25 ^c	-0.03	0.806	-1.64 ^c	-0.19	0.	
	10 新しいことを学ぶことが好きだ	-1.71 ^b	-0.21	0.088	-0.26 ^b	-0.03	0.796	-0.26 ^c	-0.03	0.	
	11 短大で学ぶことで、視野を広げたいと思う	-0.98 ^b	-0.12	0.327	-1.03 ^b	-0.12	0.302	-0.43 ^c	-0.05	0.	
	20 看護の知識をもっと身に付けたいと思う	0.00 ^d	0.00	1.000	-0.58 ^b	-0.07	0.564	-0.92 ^b	-0.11	0.	
	21 看護の技術をもっと身に付けたいと思う	0.00 ^d	0.00	1.000	0.00 ^d	0.00	1.000	-0.92 ^b	-0.11	0.	
	22 看護の態度や姿勢をもっと身に付けたいと思う	0.00 ^d	0.00	1.000	-0.30 ^b	-0.04	0.763	-1.01 ^b	-0.12	0.	
	24 授業を受けることを楽しく感じる	-0.05 ^c	-0.01	0.963	-0.14 ^b	-0.02	0.890	-0.97 ^b	-0.11	0.	
授業に対する積極性	25 学ぶことで、自分を向上させたいと考えている	-0.25 ^b	-0.03	0.803	-0.26 ^c	-0.03	0.796	-1.36 ^b	-0.16	0.	
	12 新しく学んだ事柄について、自分なりに意見がもてる	-1.09 ^b	-0.13	0.276	-1.33 ^b	-0.16	0.184	-0.64 ^c	-0.07	0.	
	13 分からないことは、先生に質問する	-0.22 ^c	-0.03	0.827	-0.17 ^b	-0.02	0.864	-0.35 ^b	-0.04	0.	
	14 分からなかったことは、そのままにしない	0.00 ^d	0.00	1.000	-1.17 ^b	-0.14	0.243	-1.07 ^b	-0.12	0.	
	15 講義に関連する図書を読む	-0.93 ^b	-0.11	0.354	-1.45 ^b	-0.17	0.148	-0.29 ^c	-0.03	0.	
	16 授業で習った事柄について、友人と議論する	-0.54 ^c	-0.06	0.592	-0.40 ^c	-0.05	0.686	-0.08 ^b	-0.01	0.	
	授業に対する真面目さ	17 授業中はしっかりノートをとる	-0.45 ^c	-0.05	0.655	-1.82 ^c	-0.21	0.069	-1.10 ^b	-0.13	0.
		18 遅刻・欠席が多い	-0.04 ^b	0.00	0.968	-0.91 ^b	-0.11	0.363	-0.53 ^c	-0.06	0.
19 学業は真面目に取り組んでいる		-0.78 ^b	-0.09	0.439	-0.87 ^c	-0.10	0.384	-0.72 ^b	-0.08	0.	
23 課題の提出期限は守る		-0.59 ^b	-0.07	0.557	-0.70 ^c	-0.08	0.484	-0.47 ^c	-0.05	0.	

a. Wilcoxon の符号付き順位検定 b. 負の順位に基づく c. 正の順位に基づく d. 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなる * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表5 キャリアレディネスについて 統計検定量

因子	< キャリアレディネス > 項目	1年生 (n=68)			2年生 (n=72)			3年生 (n=75)		
		Z	r	p	Z	r	p	Z	r	
関心性	1 将来の職業や就職について、とても関心を持っている。	0.00 ^b	0.00	1.000	-1.03 ^b	-0.12	0.302	-1.13 ^b	-0.13	0.
	2 職業や就職に関する記事には、よく目を通すようにしている。	-2.71 ^c	-0.33	0.007 ^{**}	-1.25 ^b	-0.15	0.210	-1.22 ^b	-0.14	0.
	3 将来の職業生活をどう過ごすかは、あまり関心がない。	-0.18 ^c	-0.02	0.854	-0.74 ^b	-0.09	0.458	-0.08 ^b	-0.01	0.
	4 希望する職業に就くにはどうすればいいか、調べたことがある。	-1.67 ^c	-0.20	0.096	-1.18 ^b	-0.14	0.237	-0.24 ^c	-0.03	0.
	5 将来、充実した職業生活を送るために参考となる話は、注意して聞いている。	-1.27 ^c	-0.15	0.206	-2.07 ^b	-0.24	0.039 [*]	-0.06 ^b	-0.01	0.
	6 どのような職業が自分に向いているのか、真剣に考えたことがある。	-1.90 ^c	-0.23	0.058	-1.12 ^b	-0.13	0.265	-1.19 ^b	-0.14	0.
	7 自分は何のために働くのか、真剣に考えたことがない。	0.00 ^b	0.00	1.000	-0.71 ^b	-0.08	0.475	-0.72 ^b	-0.08	0.
	8 職業選択や就職は自分にとって重要な問題なので、真剣に考えている。	-1.89 ^c	-0.23	0.059	-2.18 ^b	-0.26	0.029 [*]	-0.25 ^c	-0.03	0.
自律性	9 職業人になったら、自分から進んで積極的に仕事をしようと思う。	-0.82 ^d	-0.10	0.414	-1.31 ^b	-0.15	0.190	-0.79 ^c	-0.09	0.
	10 就職の準備は、他の人から言われなくても自主的に進めることができる。	-2.12 ^c	-0.26	0.034 [*]	-1.13 ^b	-0.13	0.257	0.00 ^d	0.00	0.
	11 職業の選択・決定では周囲の雰囲気流されることはない。	0.00 ^b	0.00	1.000	-0.38 ^b	-0.04	0.705	-0.68 ^b	-0.08	0.
	12 充実した職業生活を送れないのは、自分自身の責任が大きいと思う。	0.00 ^b	0.00	1.000	-1.13 ^b	-0.13	0.257	-0.16 ^b	-0.02	0.
	13 職業人になってからは、責任を自覚して仕事に取り組もうと思う。	-1.73 ^c	-0.21	0.083	-0.38 ^b	-0.04	0.705	-0.67 ^b	-0.08	0.
	14 職業人になっても、責任の重い仕事はやりたくない。	-0.38 ^c	-0.05	0.705	0.00 ^c	0.00	1.000	-0.41 ^c	-0.05	0.
	15 職場で難しい問題にぶつかっても、自分なりに克服していこうと思う。	-1.13 ^c	-0.14	0.257	-0.63 ^d	-0.07	0.527	-0.20 ^c	-0.02	0.
	16 職業生活を充実させるためには、面倒なことでも積極的にチャレンジする。	-1.63 ^c	-0.20	0.102	-0.58 ^b	-0.07	0.564	-0.33 ^b	-0.04	0.
	17 職業生活を通して、さらに自分自身を向上させたい。	-2.12 ^c	-0.26	0.034 [*]	-0.28 ^b	-0.03	0.782	-0.78 ^c	-0.09	0.
計画性	18 自分の将来の職業生活の様子は、だいたい想像できる。	-0.30 ^d	-0.04	0.763	-0.50 ^d	-0.06	0.614	-0.04 ^b	0.00	0.
	19 どのような職業に就きたいか、まだわからない。	-0.83 ^d	-0.10	0.405	-0.46 ^b	-0.05	0.644	-1.43 ^b	-0.17	0.
	20 どのような職業人になりたいのか、自分なりの目標をもっている。	-0.38 ^c	-0.05	0.705	-2.03 ^b	-0.24	0.042	-0.64 ^b	-0.07	0.
	21 今希望している職業は、またすぐ変わるかもしれない。	-0.54 ^c	-0.06	0.593	-0.33 ^d	-0.04	0.739	-0.04 ^c	0.00	0.
	22 職業選択や就職は、自分の個性と就職機会の両面から十分考えている。	-1.13 ^c	-0.14	0.257	-1.03 ^b	-0.12	0.305	-0.25 ^b	-0.03	0.
	23 就きたい職業は決めたが、それに向けての積極的な努力は特にしていない。	-0.33 ^c	-0.04	0.739	-0.54 ^d	-0.06	0.59	-0.04 ^b	0.00	0.

a. Wilcoxon の符号付き順位検定 b. 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなる c. 負の順位に基づく d. 正の順位に基づく * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

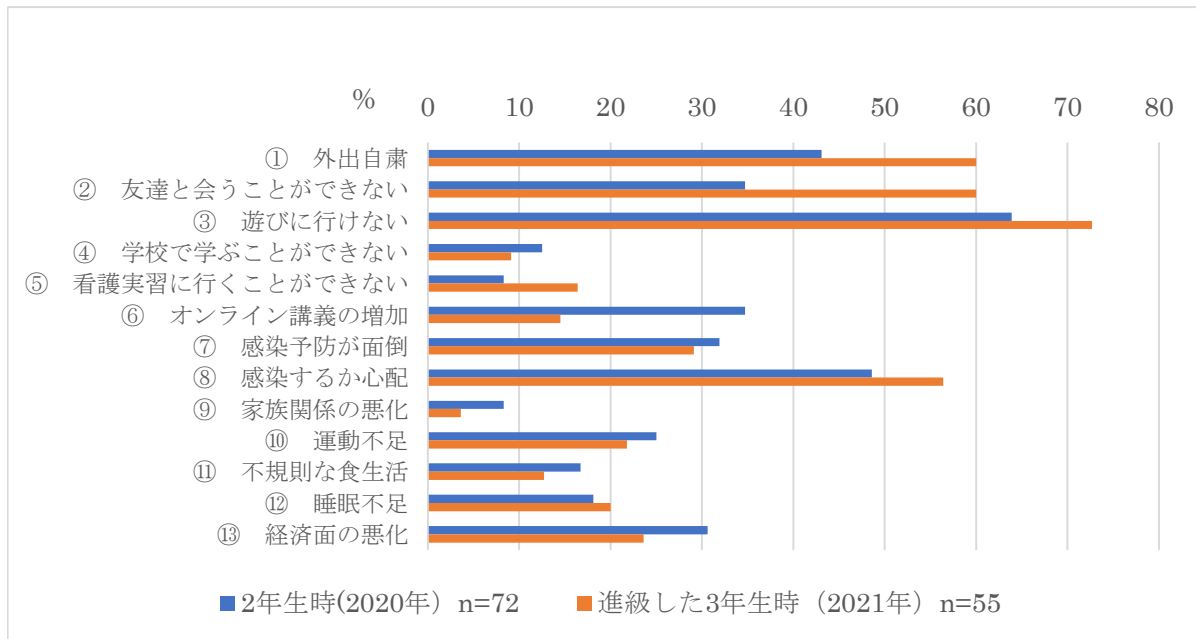


図2 コロナ禍においてストレスを感じる時は、どんな時か(2021年度)

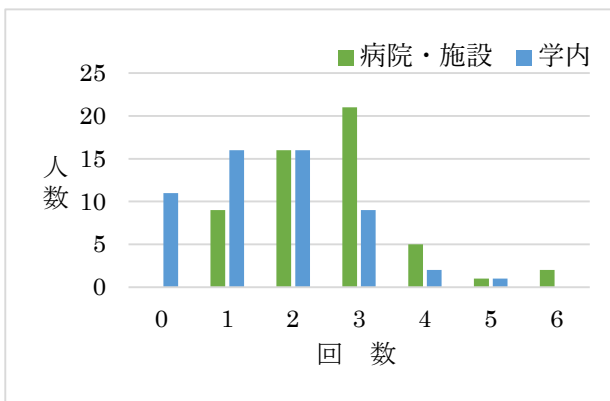


図3 実習の経験回数(病院・施設 n=54、学内 n=55)。

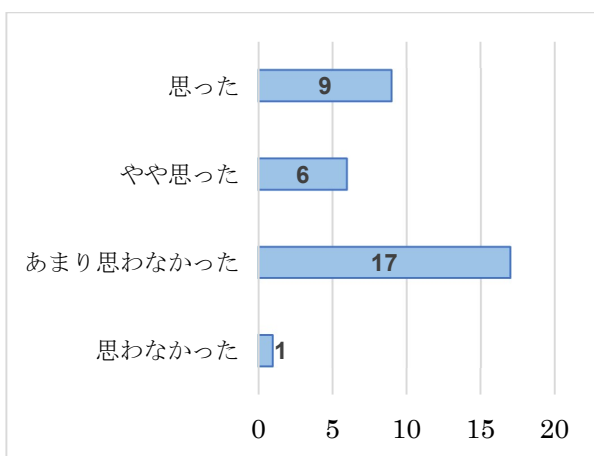


図4 臨床における実習の希望について、「もっと病院で実習をしたかったか」、n=33。

3.2. 「実習経験と学習意欲・キャリアレディネスの関連の調査(2021年度)」

新3年生は感染状況に合わせて臨地実習が始まった。「コロナ禍においてストレスを感じるのは、どんな時か(2021年度)」: 結果(図2)から、看護実習に行くことができない、感染するか心配と実習についてストレスを感じていることがわかった。

臨地実習を経験した回数は3回が最も多く、1回だけの学生もいた(図3)。次に、学内実習を2回以上経験した学生に対して「もっと病院で実習がしたいか」の問いに、「思わなかった」「あまり思わなかった」と回答した学生が半数以上を占めた(18名、55%)(図4)。次に、2020年に実施した調査時は2年生で、2021年に進級した新3年生を対象に、COVID-19感染拡大前後について学習意欲とキャリアレディネス各尺度データを、マン・ホイットニーU検定を用いて表した。

学習意欲尺度(表6)でCOVID-19感染拡大後に有意に差があったのは、【集中力・持続力因子】の「授業中、眠くなることがあった」であった。また【自己向上志向因子】において、看護の知識と技術と態度を学びたい、という項目に有意差はなかった。

表 6 進級した 3 年生における〈学習意欲〉

因子	n=104	〈学習意欲〉 項目	平均値	SD	中央値	U	r	P
集中力・持続力	1	授業中、なんとなく落ち着かない	2.22	1.00	2.00	1229.50	11.82	0.617
	2	授業中、集中力が続かない	2.64	0.98	3.00	1125.50	10.82	0.222
	3	授業中、身体がだるい	2.72	1.03	3.00	1158.00	11.13	0.318
	4	授業中、すぐ疲れる	2.85	0.99	3.00	1294.00	12.44	0.956
	5	授業中、ぼんやりしている	2.67	0.97	3.00	1184.50	11.39	0.415
	6	授業中、考え事をしていることが多い	2.61	1.01	3.00	1180.00	11.35	0.400
	7	授業中、なぜかイライラしている	2.14	1.02	2.00	1277.00	12.28	0.863
	8	授業中、眠くなることもある	3.14	0.86	3.00	951.00	9.14	0.012**
自己向上志向	9	興味がある授業には積極的に取り組む	3.17	0.84	3.00	1249.00	12.01	0.703
	10	新しいことを学ぶことが好きだ	2.93	0.91	3.00	1205.50	11.59	0.499
	11	短大で学ぶことで、視野を広げたいと思う	2.67	0.91	3.00	1083.00	10.41	0.127
	20	看護の知識をもっと身に付けたいと思う	3.45	0.68	4.00	1147.50	11.03	0.247
	21	看護の技術をもっと身に付けたいと思う	3.48	0.68	4.00	1257.50	12.09	0.737
	22	看護の態度や姿勢をもっと身に付けたいと思う	3.46	0.64	4.00	1080.00	10.38	0.096
	24	授業を受けることを楽しく感じる	2.57	0.98	3.00	1152.50	11.08	0.302
授業に対する積極性	25	学ぶことで、自分を向上させたいと考えている	3.12	0.86	3.00	1231.50	11.84	0.619
	12	新しく学んだ事柄について自分なりに意見がもてる	2.66	0.91	3.00	1190.00	11.44	0.435
	13	分からないことは、先生に質問する	2.70	0.94	3.00	1059.50	10.19	0.087
	14	分からなかったことは、そのままにしない	2.64	0.86	3.00	1206.00	11.60	0.483
	15	講義に関連する図書を読む	2.45	1.06	3.00	1259.00	12.11	0.767
	16	授業で習った事柄について、友人と議論する	2.29	1.06	2.00	1219.50	11.73	0.571
授業に真面目に対処する	17	授業中はしっかりノートをとる	2.96	0.90	3.00	1181.00	11.36	0.392
	18	遅刻・欠席が多い	1.77	1.01	1.00	1039.00	9.99	0.052
	19	学業は真面目に取り組んでいる	3.34	0.65	3.00	1177.50	11.32	0.356
	23	課題の提出期限は守る	3.49	0.72	4.00	1128.50	10.85	0.185

* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

キャリアレディネス尺度(表 7)で、実習を経験したことと有意に差があったのは、【関心性】3 項目、【自律性】4 項目、【計画性】3 項目であった。理想の看護師像では、2 年生時と同じ「寄り添える」

の文字列の出現数が多かったが、「先輩・後輩から尊敬される」という具体的な記述がみられた(表 8・資料・表 9・10)。

表7 進級した3年生における<キャリアレディネス>

因子	n=104	< キャリアレディネス > 項目	平均値	SD	中央値	U	r	P
関 心 性	1	将来の職業や就職について、とても関心を持っている。	3.11	0.89	3.00	1037.50	9.98	0.062
	2	職業や就職に関する記事には、よく目を通すようにしている。	2.91	0.95	3.00	1192.00	11.46	0.445
	3	将来の職業生活をどう過ごすかは、あまり関心がない。	2.19	1.02	2.00	1284.50	12.35	0.902
	4	希望する職業に就くにはどうすればいいか、調べたことがある。	3.23	0.75	3.00	1148.00	11.04	0.264
	5	将来、充実した職業生活を送るために参考となる話は、注意して聞いている。	3.16	0.78	3.00	1019.50	9.80	0.042*
	6	どのような職業が自分に向いているのか、真剣に考えたことがある。	3.30	0.77	3.00	969.00	9.32	0.016*
	7	自分は何のために働くのか、真剣に考えたことがない。	2.13	1.09	2.00	1284.50	12.35	0.903
	8	職業選択や就職は自分にとって重要な問題なので、真剣に考えている。	3.27	0.74	3.00	1010.00	9.71	0.035*
自 律 性	9	職業人になったら、自分から進んで積極的に仕事を行おうと思う。	3.24	0.84	3.00	973.50	9.36	0.019*
	10	就職の準備は、他の人から言われなくても自主的に進めることができる。	2.89	0.89	3.00	1071.00	10.30	0.107
	11	職業の選択・決定では周囲の雰囲気流されることはない。	2.93	0.90	3.00	868.00	8.35	0.002***
	12	充実した職業生活を送れないのは、自分自身の責任が大きいと思う。	3.21	0.72	3.00	1056.00	10.15	0.073
	13	職業人になってからは、責任を自覚して仕事に取り組もうと思う。	3.46	0.61	4.00	1002.00	9.63	0.025*
	14	職業人になっても、責任の重い仕事はやりたくない。	2.74	0.91	3.00	1194.50	11.49	0.452
	15	職場で難しい問題にぶつかっても、自分なりに克服していこうと思う。	3.20	0.70	3.00	976.50	9.39	0.018*
	16	職業生活を充実させるためには、面倒なことでも積極的にチャレンジする。	3.09	0.74	3.00	1111.50	10.69	0.171
	17	職業生活を通して、さらに自分自身を向上させたい。	3.19	0.74	3.00	1057.00	10.16	0.078
計 画 性	18	自分の将来の職業生活の様子は、だいたい想像できる。	2.57	0.97	3.00	961.00	9.24	0.018*
	19	どのような職業に就きたいか、まだわからない。	2.16	1.03	2.00	1167.50	11.23	0.353
	20	どのような職業人になりたいのか、自分なりの目標もっている。	2.99	0.82	3.00	1020.50	9.81	0.047*
	21	今希望している職業は、またすぐ変わるかもしれない。	2.25	0.99	2.00	1122.00	10.79	0.214
	22	職業選択や就職は、自分の個性と就職機会の両面から十分考えている。	2.95	0.81	3.00	1275.00	12.26	0.846
	23	就きたい職業は決めたが、それに向けての積極的な努力は特にしていない。	2.39	0.96	2.00	961.00	9.24	0.018*

* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表8 理想の看護師像の記述で多かった文字列・単語
A 2年生時(2020年)

文字列・単語	度数
寄り添える	8
信頼	4
笑顔	2

B 進級した3年生時(2021年)

文字列・単語	度数
寄り添える	10
頼ってもらえる	3
信頼	2
安心	2
笑顔	2
優しい	2

4. 考察

4.1. 「COVID-19 感染拡大における新しい生活様式と学習環境の変化が学習意欲およびキャリアレディネスに及ぼす影響(2020年度)」

看護学生は多くの国民同様に、感染予防を軸とした生活様式や食生活の行動について有意差が見られ、COVID-19感染拡大によって影響を受けていることがわかった。「学校で学んだことが生活で活かすことができますか」については、看護学生は学校で「何故、それが必要なのか」という看護のエビデンス(科学的根拠)を学んでいる。感染予防等も行為だけでなく、理解して生活の場で実践につなげているということが考えられる。学習意欲に関しては、1、2年生において【集中力・持続力因子】で有意差が見られた。COVID-19感染拡大による感染対策のため、元来の対面授業がオンライン講義に変更になった。外出自粛により登学できない、友人とコミュニケーションがとれない、自宅に一人でパソコン等の前に座り講義を受ける等という学習環境が、集中力や持続力が低下をもたらして学習意欲の低下につながったと考えられる。しかし、【自己向上志向因子】において、「看護の知識をもっと身に付けたいと思う」「看護の技術をもっと身に付けたいと思う」「看護の態度や姿勢をもっと身に付けたいと思う」

項目が、感染拡大前後の両方で高く示されたことは、COVID-19感染拡大に関わらず「看護を学びたい」という学習意欲を持ち続けていることがわかった。

キャリアレディネスに関しては、看護学生全体としては COVID-19 感染拡大の影響を受け、前向きにキャリアレディネスが向上したと考える。メディア等で COVID-19 感染拡大によって、臨床現場で頑張っている看護師の姿と共に、社会的状況や医療現場の逼迫、防護服を着用した看護師の激務などについても周知しているが、【計画性】で「今希望している職業は、またすぐ変わるかもしれない」に有意差はなく、『私は看護師になる』というレディネスが、感染拡大後も継続していると考えられる。理想の看護師像では「寄り添える」の文字列の出現数が多く「人としての態度」や「看護職としての関わり」を大切にしていることがわかった。3年生は、全項目において有意差はなかった。COVID-19感染拡大により臨地実習やインターンシップの中止等により、キャリアについて学ぶための現実的役割モデルである看護師と出会えていないことが、キャリアレディネスの向上につながりにくかった要因であるかと考える。

4.2. 「実習経験と学習意欲・キャリアレディネスの関連の調査(2021年度)」

COVID-19感染拡大が続くなか、進級した3年生時では、「看護実習に行くことができないこと」にストレスを感じていることがわかった(図2)。実習の場が病院以外の施設や保育園など実習を通して看護を学べる実践がコロナ渦によってできないことがストレスの要因につながったのではないかと考える。そして、実習を2回以上経験した学生が「もっと病院で実習がしたいか」の問いに「思わなかった」「あまり思わなかった」の回答が半数以上を占めた。これは、藤澤ら[6]によると COVID-19 感染拡大以前より「教員との関係」「指導者との関係」「時間外に実習記録を書くのに時間がかかる」「病気や治療について知識が十分になかった」等の実習のストレ

ッサーの要因が背景にあり、病院で実習をしたいと思わなかったと推察されるが、「感染するか心配」(図2)が2年生時より高くなっており、実習における感染リスクへの考慮も考えられる。

学習意欲では、【集中力・持続力因子】「授業中、眠くなることがあった(p=0.01)」で有意に差がみられた。2年生時では、「授業(実習)中、眠くなることがある」以外の7項目に有意な差が認められていた。これは、COVID-19感染拡大により対面講義が、初めてオンライン講義になった影響があったのではないかと考える。実習中はCOVID-19感染拡大による医療の逼迫状況や感染リスクなど病院での緊張感が高くなる。また、実際に患者との関わりや実習指導者や看護師スタッフに指導を受けるため集中力や持続力は高くなると考えられる。本学の学内実習についても、病院実習と差異がなるべくないようにと、新たに教員による事例を用いた看護過程の展開や看護技術、シミュレーション演習が取り入れられ実習指導がおこなわれた。したがって、2年生時より「授業(実習)中、眠くなることがある」項目に有意差がでたのは、実習中は準備や振り返り、看護過程の展開など記録量が増え、睡眠時間が少なくなることが要因として推察される。「コロナ禍においてストレスを感じるのは、どんな時か」で「睡眠不足」があげられていることから示唆できる(図2)。実習を経験することで、COVID-19感染拡大による対面講義からオンライン講義で低下した【集中力・持続力因子】の学習意欲は向上したと考える。また、【自己向上志向因子】「看護の知識と技術と態度を学びたい」という項目に有意差はなかった。これは実習を経験することでも「看護を学びたい」という学習意欲を持ち続けていると捉えることができる。

実習を経験したことで有意に差があったのは、【関心性】3項目、【自律性】4項目、【計画性】3項目であった。清水ら(2011)[7]の研究で報告されたように、学年が上がると、実習等で看護師の態度やケアを通して学ぶ機会があり、看護について自分の考えを持つことや看護にやりがいを感じるといった

「専門職としての誇りやキャリアアップ」が【自律性】の結果から育まれていると考えられる。また、理想の看護師像では、2年生時と同じ「寄り添える」の文字列の出現数が多かったが、「先輩・後輩から尊敬される」など実習に行ったことにより得られる視点や、より具体的な看護師像の記述がみられた。したがって、キャリアについて学ぶための現実的役割モデルである看護師と出会える機会は、キャリアレディネスの向上につながったのではないかと考えられる。

4.3. 「学習・生活行動への支援等の適切な介入方法について」

看護学科は各学年によって、講義、演習、実習の時間数や学習環境が異なる。1、2年生はオンライン講義の増加、3年生では実習に行けないことにストレスを感じ、学習意欲の【自己向上志向因子】の「看護の知識、技術、態度を学びたい」は、COVID-19感染拡大以前から後も継続していることがわかった。看護を学ぼうとする意欲を受け止め、主体的に参加できる講義や学内実習の構築など、各学年に応じた学習環境を整えていく必要があると考える。

生活様式尺度の「看護の学びを生活に活かすことができている」の項目で有意差がみられ、看護技術のエビデンスを理解していれば、実践は学校の演習室や病院でしかできない訳でなく、環境整備など生活の場で看護の視点をを用いて実践を経験することはできると考える。生活の場に看護実践を広げ、キャリアレディネスの向上に必要な「発見」や「興味」を持てるような介入や環境作りが必要であると考えられる。

キャリアレディネス向上につながる臨地実習に行くためには、患者と看護学生の安全を守るために標準予防策の徹底と病院で確実に実践できる感染対策をスキルとして身につけておく必要がある。演習レベルではなく、技術チェックの実施など、学内で技術習得ができるように学習環境を整えていくことが

重要であると考える。

今後の看護教育は「ウィズコロナ」で学習環境が整えられていくと考えた。臨地実習や遠隔実習、学内演習等をおこなうハイブリット型形態になり DX 技術が進歩しても、実習で患者と直接に関わることで得られる患者の細やかな表情や仕草、肌のぬくもり、「ありがとう」という言葉かけなど忘れてはならない。看護の基本を大切に守りながら、効果的な学習環境を整えることが重要である。

引用文献

- [1] 大阪府：陽性者の推移・大阪府
https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/38215/00383499/1-1_hassei.pdf (2023.2 閲覧)
- [2] 文部科学省：「新型コロナウイルス感染症下における看護系大学の臨地実習の在り方に関する有識者会議報告書 看護系大学における臨地実習の教育の質の維持・向上について」
https://www.mext.go.jp/content/20210608-mxt_igaku-000015851_0.pdf (2021.6)
- [3] 山田加奈子,竹下美恵子:キャリア成熟への影響

要因に関する文献検索—看護職及び看護学生を対象として—. 教育医学 66-3, 220-229 (2021)

- [4] 加曾利岳美：大学生の食行動が学習意欲に及ぼす影響. 心理臨床学研究 25(6), 692-702 (2008)
- [5] 坂柳恒夫：高校生・大学生のキャリア成熟に関する研究—キャリアレディネス尺度短縮版 (CRS-S)の信頼性と妥当性の検討—. 愛知教育大学研究報告 68(教育科学編), 133-146 (2019)
- [6] 藤澤美穂, 氏家真梨子, 畠山秀樹, 高橋智幸, 松浦誠：看護系学部の臨床実習における学生のストレス.岩手医科大学教養教育研究年報 53, 39-50 (2018)
- [7] 清水房枝, 久田雅紀子, 種田ゆかり, 井村香積, 窪田好恵：4年生看護学生における職業準備性. 三重看護学誌 13, 141-145 (2011)

論文集「人と環境」Vol. 16 (2023)
 大阪信愛生命環境総合研究所編

【資料】表 9-10

表9 理想の看護師像:記述 2年生時(2020年)

2年生時	
1	患者とその家族に寄り添える看護師
2	患者に寄り添える看護師
3	寄り添える看護愛
4	患者に寄り添える看護師
5	患者さんに寄り添える看護師になりたいです
6	患者に寄り添える看護師。てきぱき動ける看護師。
7	一人一人に心から寄り添える。
8	患者さんの味方であれる、寄り添える看護師
9	患者さんや周りの人からも信頼を得られる・頼られる看護師
10	信頼される看護師(患者・医療者から)
11	立派な信頼してもらえる看護師
12	患者やその家族から信頼され、他の看護師としっかりコミュニケーション・協力できる人
13	笑顔がステキな看護師です
14	笑顔を大切にできる看護師。技術をしっかり身につけていること。
15	患者さんの身体的・精神的苦痛を取り除くことができるような看護師になりたい
16	どんな状況にも対応できる優しい看護師
17	やさしい看護師になれたらいいな
18	患者さんの気持ちを考えて接することができる
19	周りを気づかえる看護師
20	多くの患者さんの個性に合った看護をできる看護師になりたいです
21	患者さんの個人を尊重した看護
22	患者の変化にすぐ気付ける
23	心身共に支えられる看護師
24	患者さんに安心してもらえるような看護師
25	ナース服を着ていないときでも看護師でありたい
26	誰か困った人がいたら手を差し出せる人
27	責任感のある
28	楽しさ・やりがいがある看護師になりたいです
29	仕事がしっかりできて、コミュニケーションをしっかりとることができる
30	臨機応変に対応できる看護師になりたい
31	自分の考えで行動できる看護師
32	新人や実習生に意地悪をしない看護師
33	きれいな看護師
34	視野を広く持ち、細かいことにも注意ができる。患者を尊重でき、自分の意見を一方的に押しつけないような看護師になりたい

表 10 理想の看護師像:記述 進級した3年生時(2021年)

3年生になって	
1	患者さんの気持ちに寄り添える看護師
2	患者さんに忙しくても寄り添える看護師
3	忙しい中でも患者さんの話を聞ける、心に寄り添える
4	技術・知識がしっかりと身につけている看護師。患者に寄り添った看護師
5	一人一人の気持ちに寄り添って、回復に向けて一緒に頑張れる看護師さん
6	患者さんにご家族に寄り添うことのできる看護師
7	患者さんに寄り添える看護師
8	患者に寄り添える看護師
9	寄り添える人
10	寄り添える看護師
11	後輩や患者から頼りにされる人になりたい
12	患者さんに頼ってもらえる、親しみやすく話しかけやすい看護師
13	周りから頼ってもらえるような看護師
14	患者から信頼される看護師
15	信頼される看護師
16	患者の気持ちを大切にし、安心を与えられる看護が提供できる
17	患者さんが安心して看護を受けられる看護師になりたい
18	忙しい時でも笑顔を大切にできる人
19	笑顔あふれる
20	優しい人
21	患者さん第1の看護師
22	患者の意思を尊重し、根拠を持って行動できる看護師
23	優しい、先輩・後輩から尊敬される
24	責任感のある看護師
25	任されたことは最後までやり遂げれ、一生懸命頑張る
26	どこで何が起きても看護師としての使命をはたしたい
27	プロ
28	緊急に対応できるナース
29	心までもケアできる人
30	小さな変化に気づける看護師
31	思いやりをもった誠実な看護師
32	不安を軽減させることができる看護師
33	特になし